

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	食事エプロンの使用法や普段の何気ない対応など、いわゆる拘束事例や虐待の芽チェックリストに挙がってこないような事例にも目を向ける。	食事の際、窮屈で嫌な思いをされないように食事エプロンは固定しない。普段の何気ない対応にも目を向ける。	汁物をこぼされる入居者様に対して、テーブルと食事トレーの間に食事エプロンを挟み込んで、床にこぼれないようにしていることがあった。身動きがとれないことはなかったが、挟み込むような使用法はしない。	1ヶ月
2	2	運営推進会議がコロナ禍により、事業所内開催となっており「評価・要望・助言」が反映されていない。	ご家族や外部の関係者へ事前照会をし、多くの意見を収集し事業所運営に反映させる。	ご家族や外部の関係者へ来訪時や電話連絡の際に、ご要望等を伺い、会議の意義を深める。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。